以前お話しした、BASES50 関係と、簡易 detector simulator に関する報告を簡単にさせていただいて、議論の参考になればと思いメールを出させていただきます。

1）BASES25 から BASES50 への変換

このステップは（もう実際に経験されているかも知れませんが）非常に簡単です。

・従来の USERIN と USROUT を一つの main proram としてその中から BASES あるいは SPRING を CALL します。
・common blocks はほとんどアクセスせずに済むので安全性が高まっていると思います。（ただ、現在のバージョンはまだ充分とはいえませんが）

2）簡易 detector simulator (FJIM) について

現在、下記のようなスキームでの作業をほぼ終えたところです。

BASES-SPRING:

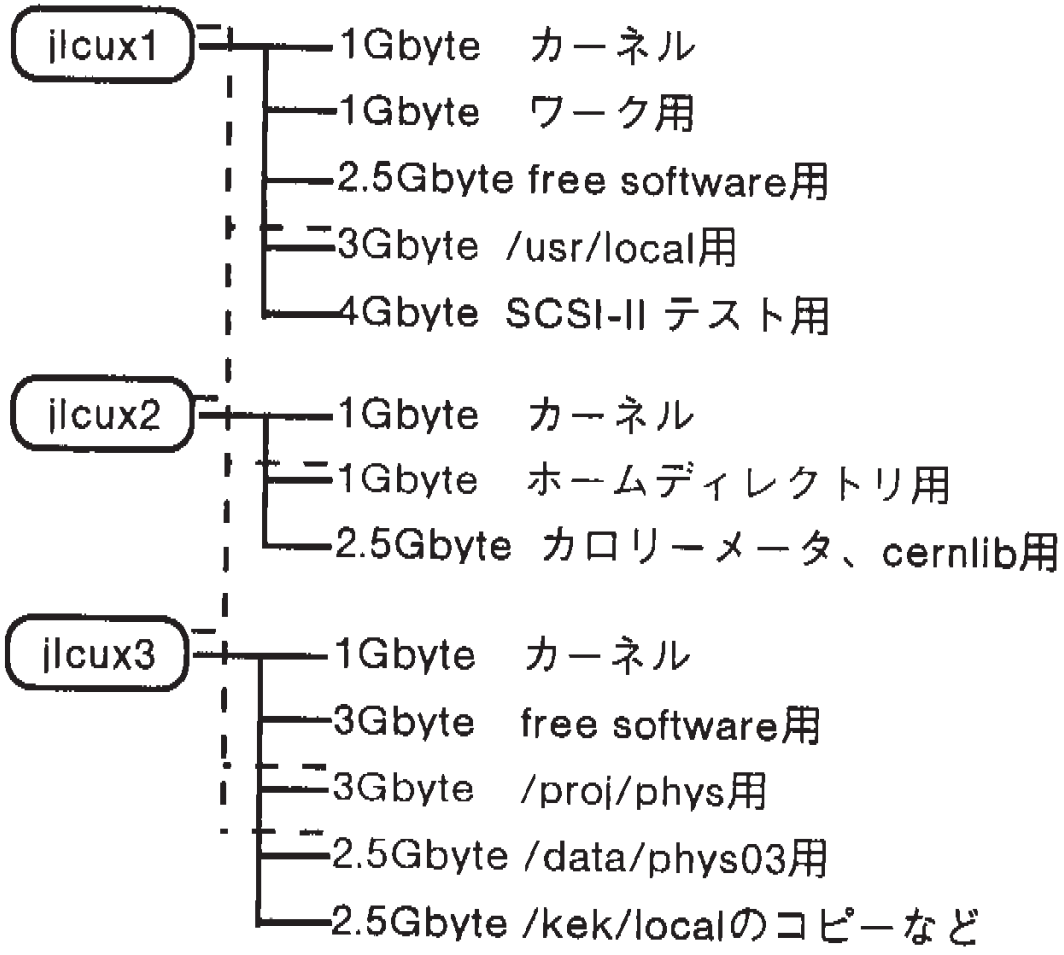
この段階で、parton 情報をバンクの形で出力することにしました。このようにすることにより、SPRING の programming の労力が大幅に軽減されると思います。また、この出力は JIM と FJIM とで共有できるようになっています。

FJIM:

BASES-SPRING により出力された parton 情報（もちろん partic 情報でも構いません）を読み込みそこに含まれる string 情報に従い fragment/hadronization/parton shower を起こさせて particle 情報としてから、FACOM 版の簡易 detector simulator を移植したものに通し、測定器の情報の bank として出力します。

これらは全て、ZEBRA ベースの bank system の上で動いています。

現在のディスクの構成



ホームディレクトリ用ディスクが1GByteと小さなディスクに割り当てられている。

どのマシンからも見えるようになっているディスクは限られている。

ホームディレクトリ用ディスク以外は、これといってファイル管理の指針がなく、プログラムの所在が把握しにくい（結果的に同じプログラムが複数個存在してしまうことになる）。

ホームディレクトリ用ディスクの容量を増やす。

↓

将来的には、ホームディレクトリ用のディスクを複数個にまで拡張する。

全てのディスクがどのマシンからも読み書きできるようにする。

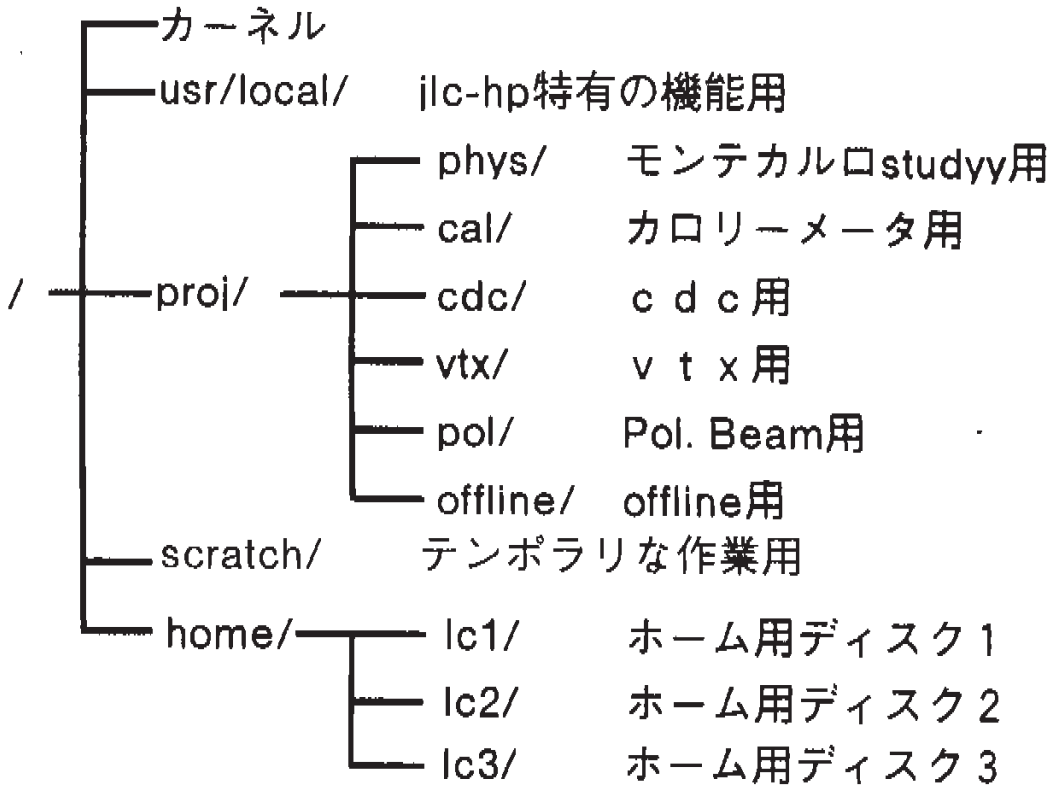
今後予想される、需要。

検出器のstudy

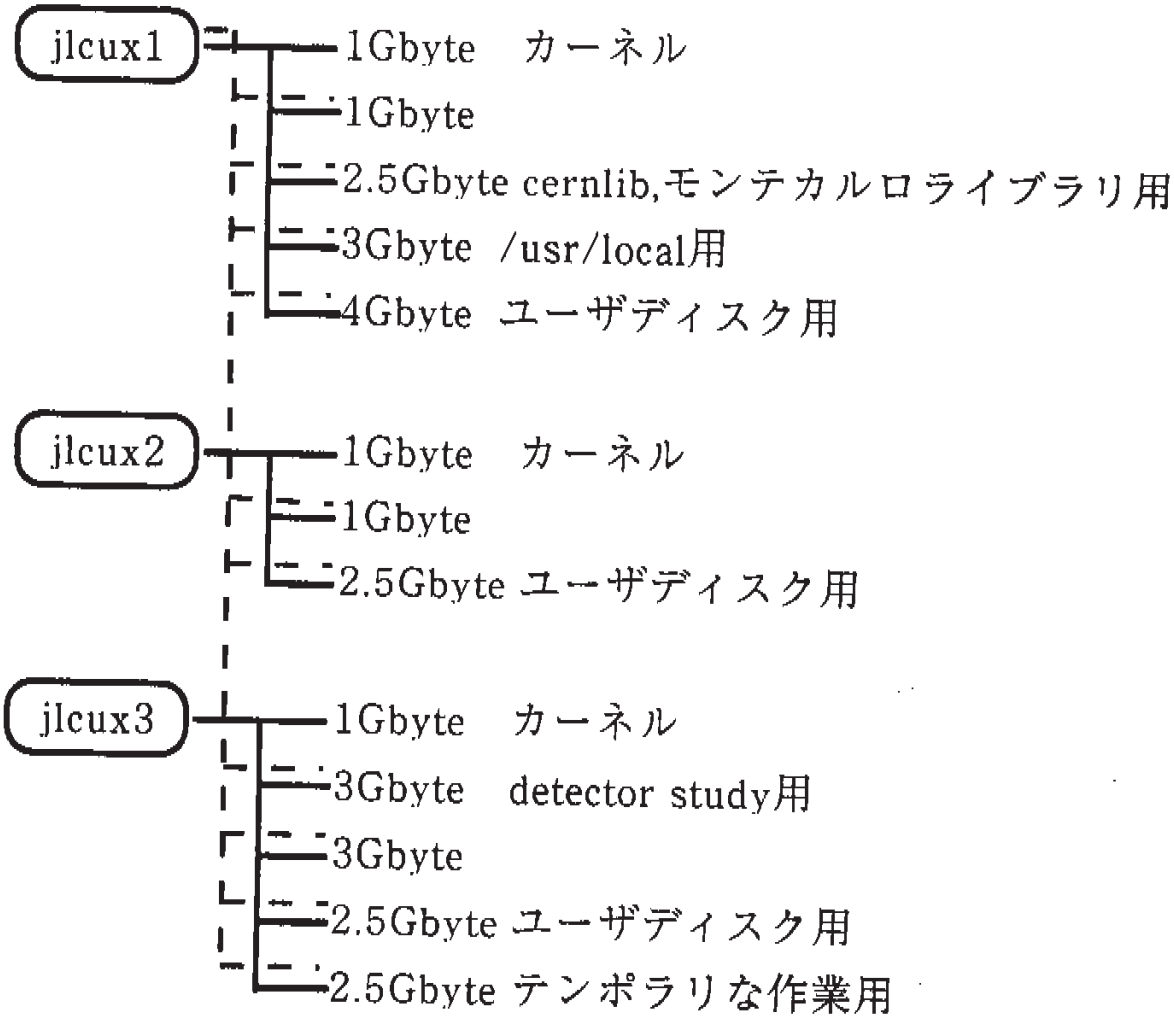
カロリーメータ,CDC,VTX,Pol. beam,offline

モンテカルロstudy

ディレクトリ構造（案）



新しいディスクの構成（案）



現在あるその他諸々の問題点

（１）MOが、現在全く活用されていない。

全部で３２あるMOを、
ユーザ　　：１０
プロジェクト：１０
システム　　：１２
といった感じで配分してはどうか？

（２）kiwifsが止まると、全く作業できない。

よく使われるようなソフトはjlchpにインストールしておき、使用頻度の比較的少ないソフトをkiwifsに頼るようにしたらどうか？
.cshrcの改善。

（３）個人ごとにジェネレータのプログラムなどを持っているため、同じプログラムが複数個存在する、またはバージョンがまちまち。

みんながよく使うようなプログラムは共通のディレクトリに置くようにしましょう。

（４）VUEを、もっと快適に使いたい。

各個人が開発した、アクション等を共通のディレクトリに置くようにしたらどうか？

WWW JLC Home Page の整備

目的

1) JLCの宣伝 → グループの拡大
2) 入門者が仕事を始めやすいようにすること
3) グループ内の情報交換
4) JLC関連資料へのアクセスの簡便化

現状とその問題

宮本氏による第一次バージョンが出来て久しい。問題はその後の目立った進展がないこと。少しずつでも新しい情報が加えられていかないと注目されなくなる。組織的な努力が必要。

当面の目標案

1) PR 文書の整備

岩手のテキストを基にJLC紹介ページを新しくする。

2) 初心者用マニュアル類の整備

例） JLC Home Page の使い方
jlcuxの使い方
解析関連ツール

仕事のリスト (Help Wanted)

3) サブグループのページ

Bulletin Board/News
スケジュール
アクティビティーの紹介

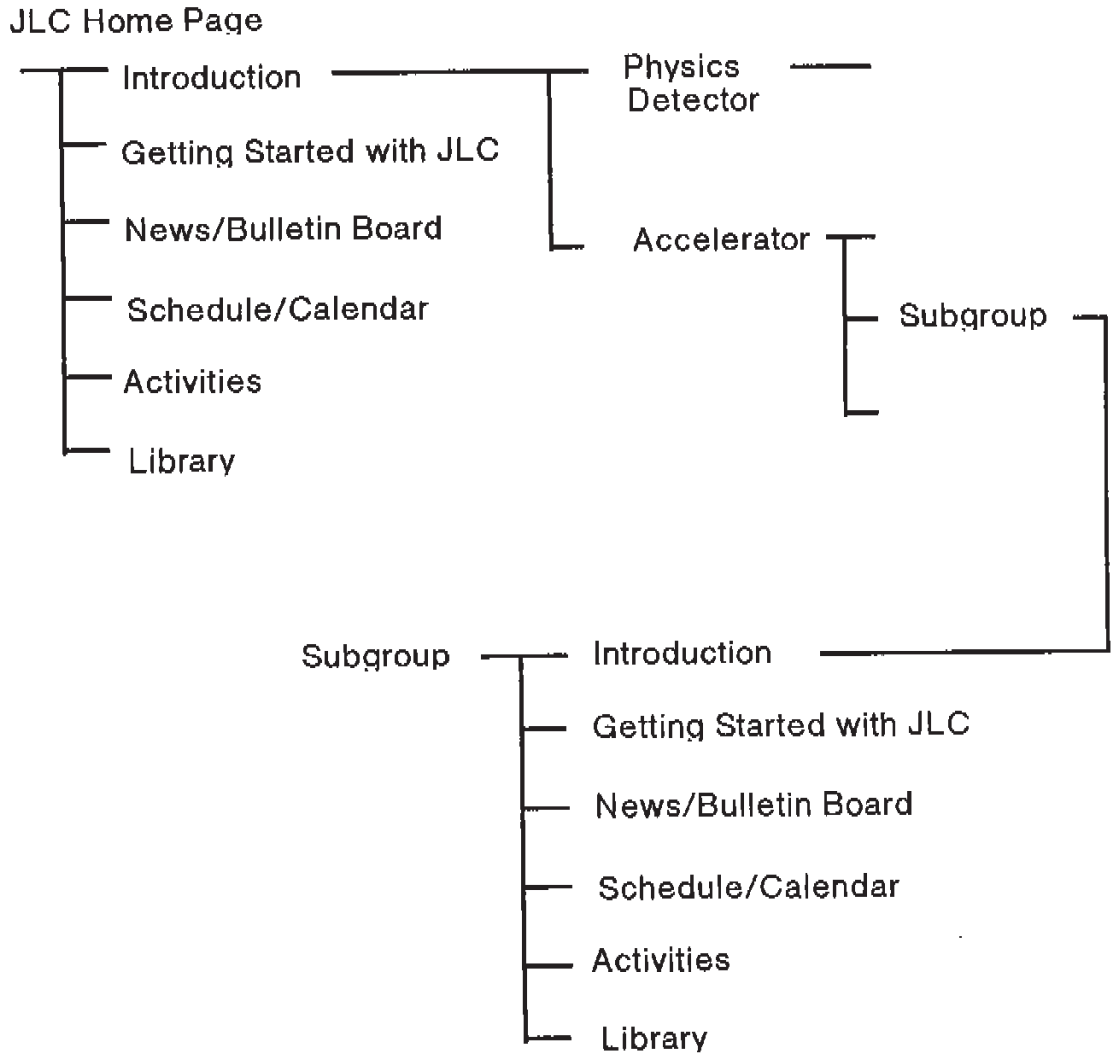
4) JLC ライブラリ

議事録、JLC Note、WS等のトラペ (PS/TIFF)
グループの出版物 （最低リスト、TEX/PS)
トラペ用の図、写真
（説明ページの中でファイルに落とせるのが望ましい）

作業方針案

Skeleton準備

宮本氏の第一次バージョンを基に以下のような構造で作る。



Subgroup Pageの準備

基本的には各サブグループが自由に作る。ただし、上の項目は存在して（中身は空でも）Home Page にリンクされているとする。
トラベ用の図、写真がファイルに落とせること。